

気づいてください!
ヘルプのサイン

熊本県の「ヘルプカード」を配付します!



ヘルプカードとは?

内部障がいや発達障がい・難病の方など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのものです。

カードを見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。

どこでもらえるの?

県庁(障がい者支援課)、県保健所、県福祉総合相談所及び県内の各市区町村の福祉担当窓口にて、**無料**(申請不要)で配付しています。

県のホームページに印刷用データを公開していますので、自分で作ることもできます。

熊本県 ヘルプカード

検索

どうやって使うの?

市販の名札ケースに入れて首から下げたり、ストラップを使ってカバンにつけるなど、**周囲から見えやすい箇所**につけて携行してください。

また、カードの裏面にはご自身の症状や支援してほしいことなどを自由に書き込むことができます。

私が手伝ってほしいこと

(記入例)
耳が聞こえにくいので、筆談(または手話)で話してください

活用例は裏面をご覧ください⇒

～ ヘルプカードの活用例 ～

裏面

私が手伝ってほしいこと

(記入例)

〇〇の発作があり、意識を失うことがありますが、数分でおさまります。

発作中はゆすったり、叩いたり、大声をかけたりしないでください。

発作後は眠ってしまうことがありますので、危険な場所にいるら移動させてください。

緊急連絡先: * * * - * * * * - * * * * (家族)

穴にストラップを通してカバンなどにつけることができます！



裏面は加工してありますので、ボールペンでも記入できます。



裏面には症状や支援して欲しいこと、配慮して欲しいことを書き込めます。
(下記の記入例も参考にご活用ください)

<記入例>

○身体障がいや発達障がいのある方

- ・耳が聞こえにくいので、ゆっくり（または手話か筆談で）話してください。
- ・視覚に障がいがあるため、小さい文字が読めません。
- ・パニックになった時は、静かな場所へ誘導してください。
- ・会話を理解するのが苦手です。わかりやすい言葉でゆっくり話してください。

○難病や持病をお持ちの方や妊娠初期の方など

- ・低血糖により意識を失ったり、倒れたりすることがあります。
- ・ペースメーカーを使用しています。
- ・妊娠中で、具合が悪くなることがあります。

○高齢の方など

- ・認知症があります。一人でいたり、道に迷っていたら、下記の電話番号に連絡してください。（家族携帯：* * * - * * * * - * * * *）

※記入する内容には重要な個人情報も含まれますので、必要に応じてカードケースに入れるか、市販のプライバシーシールを上から貼るなどの対応をお願いします。



何を書いていいかわからない場合は、記入例や市販のラベルシールに印刷して使えるサンプルデータを県のホームページに掲載していますので、是非ご活用ください。

熊本県 ヘルプカード

検索

<問い合わせ先>

熊本県健康福祉部 子ども・障がい福祉局 障がい者支援課

電話：096-333-2236 FAX：096-383-1739